



# 活 動 報 告 書

上下水道部会

事業名称	公益社団法人 日本技術士会 中国本部上下水道部会 2023 年度 中国本部上下水道部会例会・講演会 (公社) 全国上下水道コンサルタント協会中国・四国支部との共催 (以降：水コン協)		
実施時期	2023 年 8 月 19 日 (土) 12:50~17:20		
実施場所	発信会場：広島 第3 ウエノヤビル6階 コンファレンススクエア 受信会場：鳥取、島根の各拠点会場で集合参加方式 統括本部は個別オンラインによる参加方式(広島も一部個別オンライン方式)		
参加人数	例 会 25 名 (会場 13 名、Web 12 名) 講演会 103 名 (会場 34 名、Web69 名) (うち水コン協 17 名)	CPD	3 時間 30 分
事業内容 と感想	中国本部上下水道部会の 2023 年度例会・講演会を以下のとおり実施した。 <u>上下水道部会例会 (12:50~13:30)</u> 2022 年度事業報告、2023 年度事業計画、中国本部役員会報告など <u>講演会 (13:50~17:20)</u> 基調講演 (14:00~15:00) 「微生物を利用した排水からの資源・エネルギー回収」 講師：広島大学 大学院 先進理工系科学研究科 教授 大橋 晶良 氏 講演 1 (15:10~16:10)「豪雨災害後の災害に強いまちづくりの推進について」 講師：呉市上下水道局 技術部 副部長 増木 誠治 氏 講演 2 (16:10~17:10)「水道管内カメラ診断評価マニュアルを活用した水道管路の機能診断」 講師：(一社) 全国水道管内カメラ調査協会 専門会員 國實 誉治 氏 例会では、会員の状況、2022 年度事業報告、2023 年度事業計画などの報告を行った。 基調講演では、生物学的汚泥処理の主流である活性汚泥法は、約百年前にイギリスで開発され、安定的に処理できるクラシックな環境技術であるが、次世代の排水処理技術は、処理だけでなく排水からエネルギーを生成し、エネルギーを回収することが期待されており、その挑戦的な研究について紹介が行われた。講演 1 では、平成 30 年 7 月豪雨により、呉市では土砂災害や河川氾濫が発生し、約 7 万 8 千所帯が断水した。豪雨災害の状況、その後の運搬給水対応、水道施設の応急復旧の取組、さらに復旧から復興のフェーズへ移行した際の取組等について説明が行われた。講演 2 では、水道管路の老朽化への対応として、特殊カメラによる管路内部の調査方法および調査結果の評価方法についての説明が行われた。さらに、今後の取り組みとして、水道管内カメラ調査評価認定制度および水道管内 AI 画像診断技術についての説明が行われた。		
			
	会場の状況	大橋晶良先生	